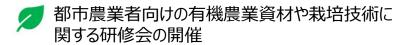
2 モデル支援型(1)支援内容

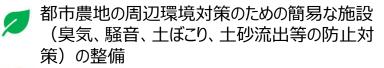
~ 今後の都市農業のモデルとなる以下の取組への支援 ~

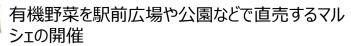
支援対象者:都道府県、市区町村、農業協同組合連合会、NPO法人、民間企業等

※③の都市部における防災機能の強化に向けた取組は、市区町村が連携することが必須

① 都市農業における有機農業等の普及に向けた取組







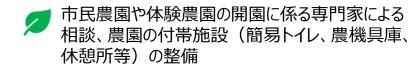


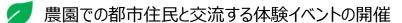
研修会の開催



マルシェの開催

② 都市における農村ファンの拡大に向けた取組







駅前広場や公園などで直売するマルシェの開催

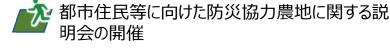


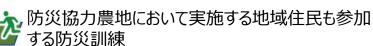
企業による「農」に触れる 機会の創出



収穫体験イベント

③ 都市部における防災機能の強化に向けた取組







市民に周知するための「防災協力農地」立て看板の設置や避難場所マップの作成



防災訓練の実施



避難場所マップの作成

複数の地域又は業種が連携して同一目的の取組を一体的に実施







(2) 交付額の上限等

事業実施期間: 2年間(+自主取組: 1年間)

交付率:定額

助成上限額:700万円/年

このうちハード事業の1つの地域当たりの上限は、150万円又はソフト事業の

1.5倍の額のうちいずれか低い額

(例1:1つの地域のソフト事業100万円の場合、ハード事業の上限150万円) (例2:1つの地域のソフト事業140万円の場合、ハード事業の上限150万円)

(例3:1つの地域のソフト事業 50万円の場合、ハード事業の上限 75万円) 実施区域等:都市計画区域内の複数の地域又は業種が連携して一体的に実施。

※ハード事業の対象は生産緑地内又は<u>市街化区域内</u>で都市計画法・都市緑地法 による基本計画等に基づく保全の方針が示されている農地

※ハード事業の実施にはソフト事業の実施が必須

(参考)

ける農村 ^{(参え}

① 都市農業

における

有機農業

等の普及

② 都市にお

ファンの

③ 都市部

における

防災機能

の強化

拡大

例1:総事業費700万円

A 地域 ソフト250万円 B 地域 ソフト100万円 ハード150万円 C 地域 ソフト200万円

☞700万円が交付対象

例2:総事業費800万円

A 地域 ソフト300万円 B 地域 ソフト150万円 ハード200万円 C 地域 ソフト150万円

☞700万円が交付対象

√ check

例2のB地域(350万円)は、1つの地域のハード事業の上限額(150万円)を超えているため、総事業費が700万円未満の場合でも、超過分(50万円)は事業実施主体の負担で実施することとなります。

事業実施期間:2年間(+自主取組:1年間)

交付率: 定額

助成上限額:700万円/年

このうちハード事業の1つの地域当たりの上限は、50万円又は総事業費の1/2の額のうちいずれか低い額

(例1:1つの地域の総事業費100万円の場合、ハード事業の上限50万円) (例2:1つの地域の総事業費150万円の場合、ハード事業の上限50万円) (例3:1つの地域の総事業費 60万円の場合、ハード事業の上限30万円)

実施区域:都市計画区域内の複数の地域又は業種が連携して一体的に実施。

※ハード事業の対象は生産緑地内又は<u>市街化区域内</u>で都市計画法・都市緑地法 による基本計画等に基づく保全の方針が示されている農地

※ハード事業の実施にはソフト事業の実施が必須

(参考)

例1:総事業費700万円

A地域 ソフト250万円 B地域 ソフト100万円 ハード 50万円 C地域 ソフト150万円 D地域 ソフト150万円

☞700万円が交付対象

例2:総事業費580万円

A 地域 ソフト250万円 B 地域 ソフト40万円 ハード 60万円 C 地域 ソフト230万円

☞570万円が交付対象

√ check

例2のB地域(100万円)は、1つの地域のハード事業の上限額(50万円)を超えているため、総事業費が700万円未満であるが、超過分(10万円)は事業実施主体の負担で実施することとなります。

6